

ISO/JIS Q 10012 計測管理規格の解説と活用

講師は業界の第一人者

参加方法が選べる
ハイブリッド型

【 1日コース : 9:30~16:30 】

ISO 10012 は、ISO 9001 の計量計測機器管理の要求事項補完にも役立つ国際規格で、規格をうまく活用することで、製品の品質、生産性向上が期待できます。現在、ISO 10012 は改正作業が進められており、2025 年 10 月頃に発行される予定です。セミナーでは、この改正情報もご紹介します。

講師は、この規格に関する執筆・講演等で幅広くご活躍中の中野廣幸氏です。

■ 対象

計測管理・品質保証ご担当の方
戦略的な計測管理をお考えの方
ISO 9001 審査員の方

■ レベル

基礎

■ 講師

中野 廣幸 氏

中野計量士事務所所長。一般社団法人 愛知県計量連合会 理事、同 計量士部会 副会長。元パナソニックエコシステムズ(株)勤務。(一社)日本計量振興協会の ISO 10012 規格 JIS 化ワーキンググループの一員として同規格制定に貢献。現在、同協会 ISO/JIS Q 10012 調査研究委員会 委員長を務める。2016 年、経済産業省産業技術環境局長表彰を受賞。

■ 受講料 (税込)

JEMIC 計測サークル会員	31,900 円
非会員	37,400 円

■ プログラム

1. 関連規格の中での位置づけ
ISO 9000 ファミリーの中での位置づけ、ISO/IEC 17025 規格及び計量法における計測管理指針との比較から、ISO 10012 規格の目的を明確にします。
2. ISO/JIS Q 10012 規格要求事項の解説
各要求事項、用語の解説により、本規格が求める計測マネジメントとは何かを理解し、計測による顧客満足、安全及び安心の確保と、運用による経営上の利点を把握します。
3. ISO/JIS Q 10012 規格の運用事例の紹介
企業における実施事例を紹介しします。また、既に第三者認定制度を導入している中国における適合認定制度について紹介しします。
4. ISO/JIS Q 10012 規格の要求する測定の不確かさ
ISO/JIS Q 10012 規格が求める“現場の計測における不確かさ”の意味を明確にし、その必要性と判定の基準を解説しします。

■ セミナーテキスト

紙媒体でご提供します。

お一人様 1 冊ずつ、日本規格協会発行「JIS Q 10012 : 2011」(和文冊子)をお渡しします。

■ 2025 年度開催スケジュール

会場	日程	開催方式	定員	お問い合わせ先
JEMIC 本社 (東京都港区)	11 月 28 日(金)	ハイブリッド型	24 名	TEL : 03-3451-1205 kosyukai-tyk@jemic.go.jp

※セミナー開催日の 1 か月前 (10/28) に申込者が 6 名に達しない場合は、開催中止とさせていただきます。

このセミナーを受講した方におすすめの講座

測定に必須の不確かさを学びたい方 ▶▶

不確かさの基礎

ISO/IEC 17025 試験所・校正機関認定制度に携わっている方

▶▶

ISO/IEC 17025 : 2017 内部監査員研修

■ セミナー会場のご案内

本社

東京都港区芝浦 4-15-7

JR「田町駅」徒歩 13 分

都営地下鉄「三田駅」徒歩 15 分

JR「高輪ゲートウェイ駅」徒歩 20 分（道が解り難いため、お勧めしません）



■ セミナーのお申込みについて

- ❑ **JEMIC** ホームページから申込書をダウンロードし必要事項を入力の上、メールに添付してお申込み下さい。
- ❑ 開催日の10日前までに連絡がない場合はご連絡下さい。
- ❑ 受講料は請求書に記載の口座にお振り込み下さい。振込手数料は貴社にてご負担下さい。

■ キャンセルについて

セミナー開催日の7日前（前週の同曜日。祝祭日の場合はその前日）までのキャンセルは1名様に付き1,000円を申し受けます。開催日の7日前を過ぎてからのキャンセルには応じかねますので、前日までにご連絡の上、代理の方がご出席下さい。参加者が少ない場合や止むを得ない事情により、開催を中止することがありますので、ご了承下さい。

■ 個人情報について

本セミナーの受講申込みにより取得したお客様の個人情報は、本セミナーに係る連絡に利用するほか、次の目的のために利用することがあります。なお、お客様のお申出により、これらの取扱いを中止させることができます。①計測技術セミナーに関するお知らせ、②各種校正試験業務、検定業務、基準器検査業務等に関するお知らせ、③定期刊行物の発送、購読期限及び会員の集いに関するお知らせ